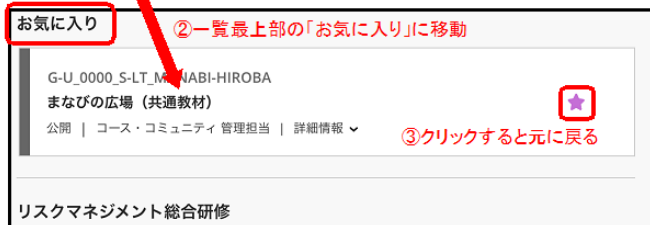


LMSの新デザインにおけるTips

2023年9月にLMSのデザインが新しくなりました。本稿では、新デザインでのTipsをご紹介します。

○特定のコース、コミュニティを一覧の先頭に配置する

コース、コミュニティの一覧画面では、年度が新しいものから順に並んでいます。特定のコースやコミュニティを常に先頭に配置したい場合は、下図のように、コースやコミュニティの右端にある「☆」ボタンをクリック（図中①）し「お気に入り」として設定します。お気に入りに設定されたものは、星の色が変わり、一覧の最上部に配置されます。お気に入りから外す場合は、もう一度「☆」ボタンをクリック（図中③）します。

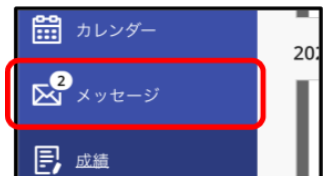


○特定のコース、コミュニティを一覧に表示しない

特定のコースやコミュニティを一覧から非表示とした場合は、右図のように、コースやコミュニティの右端にある「…」ボタンをクリック（図中①）し「非表示」として設定します（図中②）。このとき、「非公開」として設定すると、履修者（コミュニティの場合は参加者）が使用できなくなりますので、ご注意ください。非表示に設定したものを一覧に再表示する場合は、一覧画面上部にあるフィルタメニュー（図中③）から非表示のコース、コミュニティの一覧を開き、「…」ボタンをクリックし「表示」として設定します。

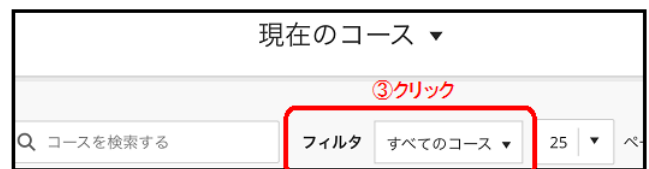
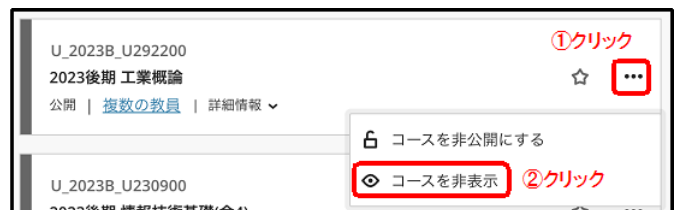
○新着メッセージを確認する

画面左のメニューの中にあるメッセージをクリックすると、全コース、コミュニティ内のメッセージへのリンクを一覧表示できます。新着のメッセージがある場合、下図のように、新着のメッセージ数が表示されますので、全コース、コミュニティを通してメッセージの未読管理に活用できます。また、メッセージが到着したことを登録しているメールアドレスに通知することもできます。この通知を設定するためには、画面左メニュー中の自分の氏名をクリックして個人ページを表示し、システム設定内のEメール通知をクリックします。通知設定の詳細は、[LMSサポートサイト](#)をご参照ください。



○LMSに関する情報を入手する

右図のように、画面左上にある「サポート」をクリックすると、LMSのマニュアルやサポートサイト、問い合わせ先などの情報の一覧が表示されます。



20周年記念シンポジウムを開催しました

ラーニングテクノロジー開発室は設置から20年を迎え、9月に「ICT活用がもたらす教育のアップデート」をテーマにシンポジウムを開催しました。LMSコミュニティ「教職員のひろば」に講演ビデオや資料（一部）を掲載しております。是非ご覧ください。

教材作成支援を行っています

LT開発室では、教材の電子化やLMSへの教材掲載等の支援を行っています。また、LTスタッフによるコンサルテーション(授業設計, LMS活用等)を実施しています。
<http://www.lt-lab.teikyo-u.ac.jp/tools/lms-support.html>
<http://www.lt-lab.teikyo-u.ac.jp/activity/consul/index.html>

ICT活用教育レポート

八王子キャンパスTNec教室の活用事例



今回は、本学高等教育開発センター(CTL)教授である宮原俊之先生に、八王子キャンパスのTNec (Teikyo Next Education Classroom*1)のを中心にお話を伺いました。

◇ TNecの運営について

TNecの運営は教育方法研究支援室として教務チームと教職協働で行っています。TNecのような教室を作るときも職員の考えだけ・教員の考えだけということではなく、お互い協力しながら進めています。その甲斐もあって利用希望の多い教室となっており、「一回使うと使い続ける」という先生が多いです。次年度の教室使用希望アンケート調査前にTNecを使ったことのない先生に対し説明会を、TNecの使用が決まった先生には授業開始直前に操作説明会を開いています。

現在、TNecはソラティオスクエアに5教室、8号館に2教室あります。ソラティオスクエアのTNecには1人1台のSurfaceがありますが、8号館のTNecは6人の島に1台PCを設置する形としました。日本においても、学生が自分で好きなデバイスを用意して学ぶという方向にシフトしていく時期に来ているのではないかと考えているからです。CTL主催の教員研修でTNecを使用した効果的な授業を展開するための研修を用意しておりますので、先生方にはぜひ受講していただきたいです。

また、8号館TNecに導入している授業支援システムのミラーリング機能(*2)をソラティオスクエア以外の39教室に入れています。その大きな目的は、先生がPC操作のために教室の端にある操作卓から動けなくなることを防ぐために、そして、学生が持っているデバイスの画面を簡単にスクリーンに投影させることができるようにするためです。

◇ ICTを活用した授業について

ずっと使用率が40%弱だったLMSの使用率が、コロナ禍である2020年度前期に100%となりました。これは使

わざるを得なかったからですが、日常に戻った現在、この部分も昔に戻ってしまうことがないように早急な対策・検討が必要です。その一つにオンライン授業の有効活用があります。文部科学省が授業の半分以上を対面で実施していれば「対面授業とする」と指針を示しましたから、本学も一定の制度・基準を作ることによって質の保証をし、オンラインと対面を組み合わせる授業ができるという方針を出してほしいと思っています(残念ながら私はそのメンバではありません)。

授業設計の中で、効率化という意味でICTの出番はたくさんあります。けれども、アナログを完全に排除したいとは思いません。たとえば、手書きで書いたものをスマホで撮ってミラーリングで教室のスクリーンに映すという方法も効率化と言うことができます。「このやり方でやって下さい」ということではなく、いろいろな教育方法を先生に提示した上で、効果を出せる方法の選択を支援していきたいと考えています。TNecを通じてそのサポートができるのではないかと感じています。

◇ 今後のTNecの展開について

毎期末にTNecで行われている授業の担当教員および履修学生にTNec独自のアンケート調査をしています。また、随時、教育方法研究支援室ではTNecに対する要望を受け付けています。要望として多いのは、やはりこのような教室を増やしてほしいというものです。そこには知識重視の授業からの変化があるように感じます。授業を構成する大切な要件の一つに「環境」がありますので、この機運がしばまぬように、計画的にTNecの展開も行っていければと考えています。また、現在のTNecについても、利用者が使いやすく効果・効率・魅力を高める授業が実施できるよう機能拡張も念頭に置いて対応していきたいと思います。

(*1) 八王子キャンパスTNec：アクティブラーニング型授業をはじめ、先生方の多様な授業実践を支援するための教室。可動式机、タブレットPC、複数台の壁面プロジェクター、PCの画面やデータを共有しながら議論できる授業支援システムなどを導入している。

(*2) ミラーリング：PCやスマホなどの画面をプロジェクターやモニタに転送して映し出すこと

LMS Tips

- ◆ 成績管理画面で学籍番号の表示を固定する
- ◆ LMSのポートフォリオ機能で学修成果を記録する

※上記のTipsをクリックすると詳細が開きます

Tipsは帝京大学LMSサポートサイトからご覧いただけます。(<http://www.lt-lab.teikyo-u.ac.jp/lms-ss/>)

編集後記

LMSのインターフェースや一部機能の変更となりましたが、みなさまデザイン等には慣れていただけましたでしょうか。現在、LMSサポートサイトのリニューアルを計画しています。今後の機能変更への対応方法なども含めて、より充実したサポート情報をみなさまにお届けしたいと思います。(梶原)

